

登録コード	HM124300	開講年度	2026				
授業題目	聴覚医学特論				担当教員	鬼頭 良輔 他	
英文授業名	Audiology				副担当	岩佐 陽一郎	
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				未解決の課題に対して、それを解明していく手順を考え、実践し、時に修正して、最終的に課題解決へ導く力を身につける。		
(2)詳細/Detailed information	現在の聴覚医学の知識を取得し、基礎的あるいは臨床的な疑問点を抽出することで、研究の概要を構築する。						
(3)授業の概要/Overview of course	特に聴覚医学に特化し、聴覚検査や疾患などについて学習する。						
(4)授業計画/Course plan	・聴覚検査：純音聴力検査や語音弁別能検査など、多彩な聴覚検査について基礎的な理論を学習し、実習を行う。 ・特に難聴をきたす疾患について、蝸牛における病態をはじめ、疫学的特徴や現在のエビデンスなどを中心に学習する。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	試験を70点・レポート30点として換算し、60点以上を合格とする 試験： 授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある(可)」，応用問題が解ければ「やや上にある(良)」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある(優)」，例題よりもかなり難しい応用問題が解ければ「卓越している(秀)」 レポート： (i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	次回の講義のテーマについて、その都度予習すべき内容や資料を提示・配布する						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	授業中・各担当教官への適宜連絡						
(8)授業の形式/Course format	講義・検査実習						